

**4年連続8位以内入賞へ
後半戦も負けられない！！**

福岡県選手団、今大会最多！12種目で入賞を果たす。

10月8日の福岡県選手団は、自転車女子ケイリンの児玉選手の優勝をはじめ、レスリング田縁選手の準優勝、柔道少年女子3位など今大会最多の12種目で入賞を果たした。10月9日の実施競技は、バスケットボール少年男子の準決勝、成年男子の準々決勝など、18の競技が行われる。

総合順位での上位進出を目指し、より一層の活躍に期待したい。

バスケットボール成年女子5位、成年男子準々決勝、少年男子準決勝へ



成年女子は、2回戦栃木県と対戦し、一時は大きく引き離されたが、終盤に怒濤の追い上げをみせたものの、惜しくも6点差で敗退。2年連続の入賞で第5位となった。

成年男子は、2回戦と3回戦が行われた。2回戦青森県、3回戦福島県、ともに試合巧者な福岡県が、力の差を見せつけ、準々決勝進出を決めた。

成年男子吉満キャプテンは、「相手の情報があまりない中、練習でしていることを心がけ試合に臨んだ。ディフェンスがよく、福岡らしいゲームができたのが勝因です。明日も2試合勝って決勝にいきたいです。明日も普段練習でやってきたことやディフェンスを頑張っていきたい。」と、試合後のチームを冷静に分析し、次の試合への意気込みをコメントした。



少年男子は、準々決勝で静岡県と対戦し、危なげない試合運びで、準決勝進出を決めた。少年男子はインターハイとの二冠、成年男子も優勝に向け、好発進の試合となった。

ハンドボール少年女子 3位決定戦へ



ハンドボール少年女子は、大阪府と準々決勝で対戦。速攻とトリプルクロスとサイドからのシュートに苦しみ前半11-17で折り返し、ハーフタイムに監督から奮起を促された。

後半立ち上がりは、一進一退の攻防が続いた。時間が過ぎていく中で、なかなか点差を詰められず点差は最大9点差がついた。しかし、大阪府のプレイヤーが3人ほぼ同時に退場し、流れは福岡へ。この機を逃さず、福岡県は一気に点差を3点差まで詰めたものの、前半の失点が響き、最後は、大阪府のスローゲームに時間を奪われタイムアップ。

今日の敗戦を乗り越えて、明日の香川県との3位決定戦では、自分たちの力を最大限に発揮し、3位を勝ち取ることを期待したい。



弓道 少年女子近的 決勝トーナメントへ



奥州市の水沢弓道場にて、少年女子近的の予選が行われた。

28m離れた的に対して、代表3人の的中数の合計で順位を争うこの競技では、予選において的中数17の全体3位で決勝トーナメントに駒を進めた。

決勝トーナメントは9日に愛知県と対戦する。愛知県は、前回大会で3位に入賞した強豪。愛知に勝って、勢いに乗り、決勝まで一気に駆け上ることを期待したい。また、決勝までは、勝ち進めば最大4試合を1日で行うことになる。

気力、体力ともにコンディションを整え、最大限力を発揮してほしい。



【各競技入賞者】 (10月8日終了時点)

競技名	種目	名前	所属	順位
自転車	成年男子スクラッチ	原井 博斗	中央大学	5位
	成年男子ケイリン	小林 和希	明治大学	3位
	少年男子スクラッチ	宮川 大和	祐誠高等学校	5位
	女子ケイリン	児玉 碧衣	日本競輪選手会	1位
ボウリング	少年女子個人	小坂 梨聖	八幡中央高等学校	5位
レスリング	少年男子 フリースタイル60kg級	田縁 真大	小倉商業高等学校	2位
	女子 フリースタイル53kg級	入江 ななみ	九州共立大学	3位
カヌー	少年女子カヌースプリント カヤックシングル(500m)	佐藤 千春	三潴高等学校	8位
柔道	成年女子			5位
	少年女子			3位
陸上競技	成年男子100m	大瀬戸 一馬	法政大学	6位
	少年女子A400mハードル	内田 真倫	高稜高等学校	6位

Team 福岡の現在状況と今後の展望

前回大会、競技別総合成績で8位入賞を果たした競技数は、15競技である。今回の大会では、8日終了時点で6競技である。しかし、国民大会の過去の男女総合成績の獲得点数を分析してみると、2位と8位の点数差は約600点あるのだが、今回大会では今現在200点しかない。このことより、獲得点数が分散していることをうかがわせており、最後まで粘り強い戦いが8位入賞の鍵となる。

10月7日終了時点で、福岡県の男女総合成績は、2つの順位を落とし13位となった。しかし、11位の愛媛、岡山には、3.5点差と僅差である。残りの試合日程を考え、8位入賞するためにも愛媛、岡山には是が非でも勝ちたい。そのためにも、残り2日、それぞれの競技で、目の前の勝負に全力を尽くし、さらに、チーム福岡の仲間として、声援をお互いに送り合うことが、福岡県選手団が目標としている8位入賞を達成することにつながるだろう。また、現在8位は北海道であり、その差は約100点である。北海道は、過去10年間の国民体育大会で、5勝5敗の因縁の相手である。ここ最近では、総合成績で4年連続勝利している。

また、9日からは新体操が始まり、先日から行われている競技で8位入賞をかけた重要な勝負も続いている。だからこそ、あと2日を残した今、これまで努力をしてきたことを信じ、相手に臆することなく、精一杯力を発揮すれば、おのずと勝利につながるはず。チーム福岡の力を見せてやろう！！

男女総合成績(天皇杯)10月8日終了時点				
順位		都道府県名	合計得点	前回大会順位
1位	▶	東京	1925.5	2位
2位	▶	埼玉	1451.0	4位
3位	↑	岩手	1355.0	16位
4位	↓	大阪	1329.5	5位
5位	↑	愛知	1301.0	3位
6位	↓	神奈川	1277.5	6位
7位	↑	千葉	1264.5	7位
8位	↓	北海道	1245.0	9位
9位	▶	兵庫	1103.5	12位
10位	↑	京都	1074.5	10位
11位	↓	岡山	1054.0	11位
11位	↑	愛媛	1054.0	13位
13位	↓	福岡	1050.5	8位

国体の情報については、大会ホームページ (<http://www.iwate2016.jp/>) より、御覧ください。

【発信元】(公財)福岡県スポーツ振興センター スポーツ振興課 企画情報係